

事業概要書

事業名	宮城県石巻市被災者支援事業				
開始日	2011年4月5日	終了日	2011年6月30日	日数	87日間
団体名	国際交流 NGO ピースボート				

総額 (税込)	9,900,000 円	スタッフ人数	運営 5人 専門家 2人 ボランティア 100人
---------	-------------	--------	-----------------------------

事業目的	津波によって甚大な被害を受けた宮城県石巻市にボランティアを派遣し、炊出しや住居等の泥撤去作業をボランティアが担うことにより、被災住民の負担を軽減するとともに、被災住民の生活改善（栄養改善・住環境改善）を図る。	
事業全体の概要	宮城県石巻市では、4月6日現在、市内142ヶ所の避難所に17,220人が避難生活を余儀なくされている。避難所以外の住民も、未だライフラインが復旧しない状況で大変厳しい生活を強いられている。また、避難所での炊出しや救援物資の配布にあたる人員が圧倒的に不足しており、社会福祉協議会・県ボランティアセンター等がボランティア募集をしているが、未だ十分なマンパワーを確保するには至っていない。 こういった状況を改善するため、東京において組織化したボランティアを宮城県石巻市へ派遣し、常時100名（12週間述べ1200名）の基礎的なマンパワーを確保するとともに現地ボランティアも組織化し被災者支援事業を行う。作業内容は、支援物資の搬送、炊き出し、市内公共施設や各世帯家屋の泥撤去作業を約3か月にわたって行う。	
	事業内容(事業種別 (コンポーネント) ごと)	裨益者 (誰が、何人)
	1. 宮城県石巻市避難所等での炊き出し 避難所及び避難所に避難していない住民が集まる場所（お寺や駐車場などのスペース）約10カ所で、1日2食の炊き出しを実施する。 特に、避難所の炊き出しにアクセスできない住民を対象とする。アクセスできない住民とは、プライベートな空間のない避難所での生活を避け、ライフラインは復旧していないものの住宅に戻ったり、半倒壊している住宅で生活したりしている住民であり、増加傾向にある。	石巻市内の避難住民 1日1,500人×87日間 =130,500人
	2. 同石巻市での支援物資配布作業 全国から石巻市に届く救援物資は、一旦石巻専修大学施設を活用した倉庫に集積される。その倉庫への搬入、倉庫内の物資の整理、倉庫から各避難所や家庭などへの運搬・配布作業を行う。	石巻市内の避難住民

3. 同石巻市の公共施設および一般家屋での泥撤去作業

石巻市災害対策本部と協力して、ボランティアグループに作業場所を割り振り、公共施設や一般家屋等の泥撤去作業を実施する。学校やショッピングセンター、一般家屋などが想定される。

石巻市内の避難住民

1日 15 チーム 60 箇所
×87 日間